第３学年　技術・家庭科（家庭分野）　学習指導案

1　題材名　「住居の機能と安全な住まい方を考えよう」

2　題材の目標

○家族の生活と住空間との関わり，住居の基本的な機能，家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解する。（知識及び技能）

○地震災害における家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見いだして課題を設定し，解決策を考え，改善計画を評価し実践を促す。また，考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する姿を身に付ける。（思考力，判断力，表現力等）

○家族や地域の人々と協働し，よりよい生活の実現に向けて，住居の機能と安全な住まい方について，課題の解決にお主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとする。（学びに向かう力，人間性等）

3　題材と指導の構想

(1)題材の工夫

題材を「地震災害に備えた住まい方について考えよう」と設定し，モデル家族での住空間の安全対策を考え，さらに実生活へ生かすことができるようにまとめる。まとめた内容は，冬休みに各家庭で実践し，さらに地域へも発信していく。

(2)学習活動の工夫

・幼児と高齢者が同居しているというモデル家族を設定する。様々な場合を想定できるようにし，実生活に生かせるようにする。

・住空間の危険場所に気づき，情報を共有する。（シンキングツールで考えを書き出し，情報共有することで，新たな考えを築く）思考の流れの可視化を図る。

・各グループに分かれ，解決策についてタブレット端末を使ってシミュレーションする。

・考えた対策を他に伝える活動を通して自らの視点を明らかにするとともに，学んだ内容が生かされているか確認できるようにする。また，グループでの検討を通して，気づきや考えをより深めたり広めたりしていく。

以上の工夫を通して，家族と地域社会の安全を考えた住空間の整え方について知識・技能を身に付け，実践する機会を設定し，学んだことを意識して自ら住空間を整えていく実践力を養い，さらに，家族・地域社会の一員として，協働していく態度を育みたい。

4　題材の指導計画（全６時間）

第１次　家族の生活と住空間の関わりについて考えよう
　第１時　家族の生活と住空間の関わりについて理解する
　第２時　住まいの基本的な機能について理解する

第２次　家族の安全を考えて住空間を整えよう
　第１時　家庭内事故の防ぎ方を考える
　第２時　地震災害に備えた住空間の整え方を理解する
　第３時　モデル家族の地震対策を考える
　第４時　自宅の防災・減災対策を考える・・・・・（本時）

5　本時の計画（6 時間目/全 6 時間）

(1)本時のねらい

住空間における防災・減災対策を他者との意見交流を通して，よりよい住まいを考えることができる。

(2)本時の構想

本時は，地震の被害を考え，住空間における防災・減災対策を他者との意見交流を通して改善・改良していく授業である。

・家族を守ることができる防災・減災対策を地域の地区長，防災士に紹介し，地域へ発信する

(3)本時の展開

学習活動	教師の働きかけと予想される生徒の反応	■評価規準 ○留意点
○前時の振り返り。本時の課題を把握する。	T1：考えてきた対策は，地震が起こった時に有効的でしょうか。 家庭内でも実践できそうでしょうか。また，様々な状況の人にとっても安全でしょうか。 ＜課題＞ どのような減災対策をしたら，どの世代の人も安全に暮らせる住空間になるだろうか。	○各家庭で確認してきた防災・減災対策を班内で共有する。
○各自が考えた防災・減災対策を共有する。 ○家族の安全を考えた住空間の整え方についてグループ内で確認する。	T2：防災・減災対策について家族で話し合ってきたことや前時の話し合い活動でまとめた内容を確認しましょう。どの家庭にも共有できそうなことやどの世代の人が家族にいても，家庭内で実践でき効果的な対策を検討したりしながら，防災・減災対策を書き込んでいきましょう。 S1：家族で確認してきたことや前時でまとめたことを確認する。防災・減災対策について実践できそうな対策をタブレット端末を用いてまとめていく。（対策は3～5つにしぼる） T3：グループごとに発表しましょう。そして，検討したことを学級内で共有しましょう。 S2：班ごとに効果的で実践できそうな防災対策・減災対策について発表する。	■安全を考えた住空間の整え方についての課題解決に向けた活動について，考察したことに筋道を立てて説明したり発表したりしている。（思）
○本時を振り返り，実践・実行していきたいことを記述する。	T4：この２時間の授業を通して，新たな気付きと実際に家庭内で実行・実践できそうな防災対策・減災対策について自分の家の間取りに赤で書き込んでいきましょう。 【まとめ：予想される生徒記述など】 ・本棚を固定したりしようと思ったけれど，移動したり固定するのは大変なので自分のベットの位置を変えてみる。 ・L字金具をつけようと考えたけれど，壁が破損すると困るので，ポールにしたりレイアウトを変えるなど自分たちでもできることをしたい。 T5：今回，学んだことをいつ起こるか分からない地震災害に備えて，ぜひ，自分や大切な家族を守るためにできるところから，実践・実行してみてください。	○家族の安全を考えた住空間の整え方について工夫し創造し，実践しようとしている。（主）

(4)本時の評価

○地震災害における家族の安全を考えた住空間の整え方についての課題解決に向けた一連の活動について，考察したことを筋道を立てて説明したり発表したりしている。（思）

○家族の安全を考えた住空間の整え方について工夫し創造し，実践しようとしている。（主）

6　参考文献

・中学校　技術・家庭科分野　「資質・能力を育む学習指導と評価の工夫」　筒井　恭子
・「住まい方を見つめ直す活動を組み込んだ協同学習～小中高等学校家庭科住生活の授業～」
小川　裕子・井深　祥子・飯野　由香利・金子　京子